

20240215 湘南地区連絡協議会 道路実態調査

湘南地区連絡協議会は、本日2月15日（木）7時～道路実態調査を志田議長・伊丹事務局長・萩原事務局次長・望月県連書記次長の4名で行いました。

足柄郡大井町1845（国道255号線）の危険箇所をはじめに、前回の調査を行った、伊勢原工業団地内路上駐車の実態と死亡事故発生場所の再確認、平塚市新町、茅ヶ崎市県道46号線～国道1号線迄の横断歩道等のラインが消えている箇所、藤沢市大庭の2ヶ所、綾瀬市上土棚の信号機の設置要望。藤沢市遠藤における横断者が見えにくい箇所、湘南台駅西口の樹木の伐採要望藤沢市辻堂元町での歩行者信号機設置要望、藤沢市渡内の横断禁止の看板設置要望の計11ヶ所を周り提言内容について調査を行いました。

調査終了後、15時30分～Fプレイス501会議室にて行動者4人での改善要望の必要性の有無を含めて総括を行い伊丹事務局長が纏め次回幹事会にて報告する事を確認し16時30分終了しました。

【志田議長】

調査目的：

湘南地区（藤沢、茅ヶ崎、寒川）の道路状況改善のための裏付け調査

前提として：

2023年に交運労協を通じた提言を行っており各道路を管轄する

神奈川県警、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、神奈川県个回答を基に再調査及び

新規提言事項の調査を行った。

調査状況：

道路の修繕等で市の行政に提言した内容については、対応済みの箇所もあり予算の都合をつけながら対応をとっているものと思われる。

信号等の設置は必要性および管轄が県警察のため提言内容を精査する必要があると感じた。

新たな道路の工事も行われており交通の利便性は向上するものと感じたが、既設の横断歩道や道路標示のはがれ及び消えが目立つ地域もあり予算と人員の計画が困難な状況なのか確認が必要と感じる。

特に児童が通学する道路については、事故のリスクも高いため注意喚起をする必要があると感じた。

また改善が必要な調査箇所には周辺施設所有者の協力が必要な箇所もあり個人や法人に対してのアプローチ方法もどのように行うか提言に加えていく必要がある。

結果判定：

調査後の検討会で新規提言の基礎文章の提起と継続箇所の確認及び対応済みと判定できる箇所の確認を行った。

また提言内容には警察による取り締まりの強化をする箇所も含まれているため、引き続き連絡協議会参加者のかたには提言箇所での対応がとられているのか気にかけて頂きたい。

【伊丹事務局長】

2024年2月15日（木）に湘南地区連絡協議会幹事会での道路調査に参加してきました。

今回、初めて参加してきました。

昨年提言をした場所の回答に基づいての再調査と新たに要望の出たところの道路実態調査に行ってきました。

横断歩道の白線やセンターライン、道路標示などが消えかかっている箇所が所々で散見していた。

道路の修繕は改善されている所も確認ができた。

昨年の提言した箇所ほとんど変化がなかったと感じました。

今後は、提言するさいは、しっかりとした内容や説明、要望、時間帯など確認してから調査をしたほうが調査する側も理解したうえで調査ができるのではないかと感じた。



【萩原事務局次長】

2024年2月15日（木）の朝、7時より湘南地区連絡協議会の道路実態調査に参加してきました。今年には昨年要望した場所の確認も含めて11箇所を回る事が出来ました。4人で1台の車で行ったのですが各座席からは見え方の違いや気付けない場所もあり道路実態調査を行うには最低4人必要な場所が何箇所かありました。途中、要望箇所とは違う道路を通過し動画撮影しながら走ったのですが、藤沢市内だけでなく茅ヶ崎市や寒川町でも横断歩道等の道路の白線が消えかかっている又は完全に消えてしまっている場所が多数ありこのような場所の改善要求、また道路標識やカーブミラー、注意喚起、信号機設置だけでなく視界を確保するための樹木の伐採等の要望の必要性を改めて感じ、自身、何回も参加させていただいてる中で改善された場所を通る事が出来た時の喜びは何とも言えないものですので、これからも皆さまからの要望を聞いてまた参加したいと思う1日になりました。

【望月事務局次長】

提言内容通りの状況ではないために、仮想的に状況判断をおこないました。新規の提言については、極力意をくんで提言に結びつける作業を行いました。道路形状が突き当たる側が一時停止との回答を受け、そうでない道路も発見。道路拡張工事中のために今後の計画など、大矢藤沢市議より実態を聞くこととしました。横断歩道のペイントが消えかけている箇所が多く、ビデオ撮影をしながら現地確認を行いました。

昨年度の提言内容から、検討等の回答についても実態調査を行いました。すべての箇所にて変化は見られなかったのが現実です。提言の仕方についても研究し、今後、自治体への要請になることからわかりやすい状況説明と、改善については行政にゆだねる形、考えていただく提言が必要ではないか？

横断歩道が消えている実態は、藤沢市の取り組みを先進例として、自治体での公式LINEにて市民から情報を得れる取り組みも行っていただきたいと感じました。